

## LPガスCP情報(2015年12月積み)

### 1. 12月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン460<sup>ドル</sup> (前月比 +65<sup>ドル</sup>)

ブタン 475<sup>ドル</sup> (前月比 +40<sup>ドル</sup>)

#### ① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、原油・石油製品市況が軟化するなか、LPガススポット市況は第2週に軟化したものの、12月到着アーブ玉は少な目、欧州トレーダーの価格つり上げ目的の高値買い唱えもあり、CP先物、CFR市況も急反騰した。極東CFR市況は軟化を続けていたフレート市況が反発したのを受け堅調に推移、第3週でプロパン470<sup>ドル</sup>、ブタン480<sup>ドル</sup>どころ、成約の中心は12月CPプラス50<sup>ドル</sup>どころのディスカウント市況だったが、第4週は一時50<sup>ドル</sup>以上上昇した。

ナフサは原油市況に連れ軟化、465~430<sup>ドル</sup>台で推移し月間平均では453<sup>ドル</sup>、前月比3<sup>ドル</sup>の下落。バンカーオイルも原油市況に追随して大幅に軟化し初旬の245<sup>ドル</sup>台から月末には220<sup>ドル</sup>を割り込み、月間平均では230<sup>ドル</sup>、前月比14<sup>ドル</sup>の下落となった。

一方、米モンベルビュープロパンスポット価格は、全米プロパン在庫が過去最高水準まで積み上がり、13日にはプロパン210<sup>ドル</sup>まで下落したが、第3週は216<sup>ドル</sup>に反発。NWE(北西ヨーロッパCIF)市況は、第3週に反発、プロパン360<sup>ドル</sup>、ブタン350<sup>ドル</sup>どころ。

12月CPは前年同月比プロパン90<sup>ドル</sup>、ブタン95<sup>ドル</sup>のそれぞれ下落。原油(AL)熱量等価対比では大幅に上昇、プロパン、ブタンともに2004年12月以来の高水準。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	64	62	67	68	65
CP先物指標：P	420	400	425	455	425
CP先物指標：B	435	410	435	470	438

#### ② 原油市況等

原油市況をみると、WTIは11月46<sup>ドル</sup>台でスタートしたが、全米原油在庫が9週連続の増加で1930年以降の最高水準を記録、クッシング在庫も増加し市況は軟化、19日には一時8月26日以来の40<sup>ドル</sup>割れ、終値も3ヶ月ぶりの安値となった。パリ同時多発テロを受けた対IS空爆の強化、トルコによるロシア機撃墜で一時地政学リスクが高まったものの、市場は、世界的高水準在庫、ロシア、OPEC等増産による供給超過長期化を懸念、上値は重い展開となった。一方、NYMEXのWTI総取組高は27日時点で164万枚、前月末比3万枚の減少、大口投機玉の買越残高は24日で21.2万枚と前月比2.4万枚減少。買建玉が2.7万枚減少、売建玉は3千枚減少した。

○11月積みアラビアンライト(11月1~27日)は40.36<sup>ドル</sup>(前月比-5.69<sup>ドル</sup>)

熱量等価AL100% プロパン330.89<sup>ドル/トン</sup> ブタン326.36<sup>ドル/トン</sup>

AL比 プロパン139.02% ブタン145.54%

\*上記アラビアンライトはEIN推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

### 2. 2015年12月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
21~20日①	122.83	52,500	55,900	+6,900	+7,600
26~25日②	123.13	52,600	56,000	+7,000	+7,600
1~30日③	123.58	52,800	56,200	+7,100	+7,800

\*TTS平均は①が10月21日~11月20日まで、②は10月26日~11月25日

③は11月1~30日、①、②、③ともに12月仕切適用。①、②、③いずれも

前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、価格制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意下さい。